

## 5. 執筆者紹介

武末 純一（たけすえ じゅんいち） 福岡大学人文学部教授

九州大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了

【著書・論文】 『土器からみた日韓交渉』（学生社、1991年）、『弥生の村』（山川出版、2002年）、『集落からみた渡来人』（『古文化談叢』第63集、2010年）、『邪馬台国時代前後の交易と文字使用』（『発見・検証日本の古代Ⅰ 纏向発見と邪馬台国の全貌』、角川書店、2016年）

亀田 修一（かめだ しゅういち） 岡山理科大学生物地球学部教授

九州大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了

【著書・論文】 『考古資料大観第3巻 弥生・古墳時代 土器Ⅲ』（編著、小学館、2003年）、『日韓古代瓦の研究』（吉川弘文館、2006年）、『吉備の古代寺院』（共著、吉備人出版、2006年）、『古墳時代研究の現状と課題』上・下（共編著、同成社、2012年）

土生田 純之（はぶた よしゆき） 専修大学文学部教授

関西大学大学院文学研究科博士前期課程修了

【著書・論文】 『日本横穴式石室の系譜』（学生社、1991年）、『黄泉国の成立』（学生社、1998年）、『古墳学入門』（編著、学生社、2003年）、『古墳時代の実像』（編著、学生社、2008年）、『文化遺産と現代』（編著、同成社、2009年）、『東日本の無袖横穴式石室』（編著、雄山閣、2010年）、『古墳』（歴史文化ライブラリー 319、吉川弘文館、2011年）、『多胡碑が語る古代日本と渡来人』（編著、吉川弘文館、2012年）、『古墳時代研究の現状と課題』上・下（共編著、同成社、2012年）、『事典墓の考古学』（吉川弘文館、2013年）、『古墳の見方』（編著、ニューサイエンス社、2014年）、『積石塚大全』（編著、雄山閣、2017年）、『三河国、ここにはじまる！』（編著、雄山閣、2017年）

Phạm Hoàng Hùng（ファム・ホン・フン） ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学講師

ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学大学院博士課程修了

【著書・論文】 1.“The Formation of Martial Class and Characteristics of Boxers in the Medieval Time” in *Cultural-Social History of Japan*. Hanoi: The Gioi Publisher, 2010. 2.“Women's Ownership and Inheritance of Property in Goseibai Shikimoku of the Kamakura Period: the Case Study of Nakahara Chikayoshi Clan” in *Legislation and Society in Japan*. Hanoi: The Gioi Publisher, 2011. 3. *Japanese Geography, Residential and Environment* (Co-author) . Hanoi: Vietnam National University, 2012. 4.“Inheritance Property in Goseibai Shikimoku, Japan.”

*Newspaper Northeast Asian Studies* 1 (179) (2016) .

Dang Hong Son (ダン・ホン・ソン) ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学講師  
吉林大学大学院博士課程修了

【著書・論文】 1.“The Features of Go O Chua Site (Long An) and the Transitional Process from Pre-Oc Eo to Oc Eo Culture in the Southern Vietnam.” *Vietnam Archaeology* no. 6 (2007). 2.“Architectural Materials under Tran and Ho Dynasties in Ho Citadel, Nam Giao Esplanade and LyCung Palace Site.” *Vietnam Archaeology* no. 3 (2008). 3.“Back to the Matter of “Yazhang” in Phungnguyen Culture.” *Vietnam Archaeology* no. 5 (2010). 4.“About Location Names on Building Bricks from Ho Citadel (VinhLoc District, ThanhHoa Province).” *Vietnam Archaeology* no. 2 (2012). 5.“Roof Decoration of Vietnam in Ly, Tran and Ho Dynasties (越南李陳胡朝時期的屋頂裝飾).” *Research of China’s Frontier Archaeology* (边疆考古研究) vol. 12 (2013). 6. *Northern Vietnam 11th - 14th Centuries Bricks, Tiles and Roof Decoration Materials*. Hanoi: The Gioi Publisher, 2016.

Phan Hai Linh (ファン・ハイ・リン) ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学准教授  
ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学大学院博士課程修了

【著書・論文】 1. *Cultural-Social History of Japan* (Chief Editor). Hanoi: The Gioi Publisher, 2010. 2. *Duong Lam Heritage - Traditional Cuisine and Costumes*. Hanoi: The Gioi Publisher, 2016. 3. “Trade Between Vietnam and Japan During XVI-XVII Centuries” (Co-author) in Kiyohiko Sakurai and Seiichi Kikuchi eds. *Kinsei Nichi-etsukoryushi: Nihonmachi Tojiki*. Tokyo: Kashiwa Publisher, 2002. 4. *Japanese Villages in Shoen, East Asia and Southeast Asia: History and Present*. Hanoi: The Gioi Publisher, 2004. 5. “Japanese Villages through Documents of Shoen, Comparison to Vietnamese Villages.” *Journal of Science: Social Sciences and Humanities* no. 25 (5E) (2009). 6. “The Elephant Trade between the Center of Vietnam and Japan During XVI-XVIII Centuries.” *Journal of East Asian Cultural Interaction Studies* 7 (2014).

菊池 百里子 (きくち ゆりこ) 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合情報発信  
センター研究員

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了 博士 (学術)

【著書・論文】 『ベトナム北部における貿易港の考古学的研究－ヴァンドンとフォーヒエンを中心－』 (雄山閣、2017年)、『陶磁器流通の考古学 日本出土の海外陶磁』 (共著、高志書院、2013年)、「黎朝前期におけるベトナム陶磁の交易」(『昭和女子大学

国際文化研究所紀要』Vol.21、2015年)

多田 麻希子 (ただ まきこ) 古代東ユーラシア研究センター ポスト・ドクター  
専修大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学

【著書・論文】 秦漢時代の簡牘にみえる家族関連簿集成稿 (その二) (『専修史学』56号、2014年)、  
「家罪」および「公室告」「非公室告」に関する一考察—秦漢時代における「家族」  
の居住形態— (『張家山漢簡『二年律令』の研究』、東洋文庫、2014年)、「中国  
古代家族史研究の現状と新たな課題」 (『歴史評論』785号、校倉書房、2015年)、  
「『嶽麓書院秦簡 (参)』訳注 (1) ~ (3)」 (共著、『専修史学』59・61・63号、  
2015年~2017年)

奈良 竜一 (なら りゅういち) 古代東ユーラシア研究センター リサーチ・アシスタント  
専修大学大学院文学研究科博士後期課程在学中

【著書・論文】 「『嶽麓書院秦簡 (参)』訳注 (1) ~ (3)」 (共著、『専修史学』59・61・63号、  
2015年~2017年)、「『日書』の性格と郷里社会」 (『専修史学』61号、2016年)

高久 健二 (たかく けんじ) 専修大学文学部教授  
韓国・東亜大学校大学院史学科博士課程修了

【著書・論文】 『楽浪古墳文化研究』 (学研文化社、1995年)、「楽浪郡と三韓」 (西谷正編『韓半  
島考古学論叢』、すずさわ書店、2002年)、「韓国の倭系遺物」 (『国立歴史民俗博  
物館研究報告』110、2004年)、「楽浪・帯方郡埴室墓の再検討」 (『国立歴史民俗  
博物館研究報告』151、2009年)、「楽浪郡と三韓の交易システムの形成」 (『東ア  
ジア世界史研究センター年報』第6号、2012年)、「楽浪郡と三韓・倭の交流関  
係」 (『弥生時代政治社会構造論—柳田康雄古稀記念論文集』、雄山閣、2013年)、  
「新たに報告された楽浪室墓に関する考察」 (高倉洋彰編『東アジア古文化論攷 =  
Studies in East Asian archaeology and history part 1』、中国書店、2014年)、「平  
成26年度韓国・三国時代百済関係資料調査報告」 (『古代東ユーラシア研究セ  
ンター年報』第1号、2015年)

飯尾 秀幸 (いいお ひでゆき) 専修大学文学部教授  
東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【著書・論文】 『中国古代社会史論』 (共訳、名著刊行会、1997年)、『中国史のなかの家族』 (山  
川出版社、2008年)、「中国古代の法と社会」 (『岩波講座 世界歴史』第5巻、岩  
波書店、1998年)、「中国古代における個と共同性の展開」 (『歴史学研究』729号、  
1999年)、「中国国家史研究は進んだか」 (『歴史学研究』782号、2003年)、「中  
国古代における人の移動とその規制に関する基礎的研究」 (『専修大学人文科学年  
報』37号、2007年)、「雲夢睡虎地・荊州張家山調査報告記」「中国古代土地所有

問題に寄せて」(東洋文庫中国古代地域史研究編『張家山漢簡『二年律令』の研究』東洋文庫、2014年)「睡虎地(湖北省)」(『地下からの贈り物新出土資料が語るいにしへの中国』、東方書店、2014年)、「古代史研究における東ユーラシア地域論をめぐる試案」(『古代東ユーラシア研究センター年報』第2号、2016年)